

場所 広島 さくら渡船 江田島筏  
 釣行日 2016/06/18(土)・19(日)  
 参加者 10名  
           さわやか 2名  
           京都チヌ研 6名  
           一刀会 1名  
           関西チヌ研 1名

★2日間の結果から報告します。

・私	チヌ 1匹	・ 真鯛 数匹
・さわやかさん	チヌ 計14匹	真鯛 数匹
・一刀会	チヌ 5匹	・ 真鯛 数匹
・京都チヌ研	チヌ 計 数十匹	真鯛 ?匹

結果論ですが、クジ運が悪かった！当初の予約では、3・3・4名の組み合わせで3台の予約のはずが、出船直前に船頭さんから5名ずつの2台になるので組み合わせ変えといつと寝耳に水？しかしモメテモ仕方がないので急ぎよ、私+さわやかさん2名+小山会長+柴田相談役=5名組、京都チヌ研、5名の2組に変更、おまけに降ろされたところは急ぎよ私達用に借りた筏のようでした？

梅木さんもここはどこ？って感じですか？釣り座を太田さん、柴田さん、梅木さんが潮下（表）に松元、小山さんが潮上（裏）に分かれて釣り開始、開始から2時間潮変わりになり一気に潮が飛ぶため私と小山さんが移動梅木さんの隣に私、陸側に小山さんが移動、再釣り開始ですが・・・少し離れた京都チームでは結構騒がしくなっているようで竿が曲がってタモに入れているのが見えます。こちらでも梅木さんが釣れ初めて太田さんも、次にまたまた梅木さん！そして梅木さん、太田さん、ここで柴田さんで締め梅木さんで初日終了！梅木さん7匹、太田さん5匹、柴田さん3匹、私、小山さん0匹という広島まで来て最悪の・・・

2日目、雨の中出船、梅木さんのご配慮で釣り座変更、太田さんと私が入れ替わり、柴田さん移動無、梅木さんと小山さんが入れ替わり、雨対策して釣り開始！豪雨の中2日目開始です。隣の筏は雨の中騒がしく釣果を伸ばしておられますが、こちらはさびしくせっかく変わって頂いたのに昨日よりひどいかももしかしやはり梅木さんの場所に入られた小山さんがアタリに対する合わせのタイミングが分かったと5匹、柴田さんが2匹、梅木さんが2匹、私が1匹、太田さんが0匹、一方京都チームは各人10匹前後つられていました。クジ運が悪いのか日頃の行いが悪いのか？広島まで来たのに！

今回、私達だけが沖の筏に渡され、ほかのフカセ釣り、ダンゴ釣りのお客さんはもう少し江田島に近い場所で釣りをされて2日間ともに聞き取ると皆さん良い釣果（年無含）のようでした。良い場所に当たれば確実に釣れる！今回の貧果は、梅木さんも初めてとのお話、ここではなく水深20M前後の場所がベストだそうですので、今回はそこでやらせてもらいましょうとのこと、絶対にリベンジします！まあ～結局のところ**私がへたくそだった**のです！

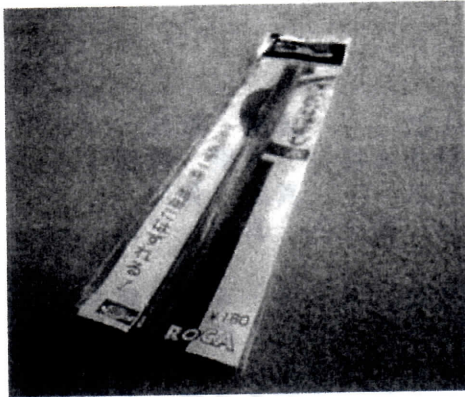
※マルケン渡船さんに、先日山口会長一行釣行されたそうですが・・・対応イマイチよろしくなかったそうです！（3名で1枚の釣果これは、運、不運&日頃の行い？もごさいます！迎船時釣果を聞かれダメだったと言うとやっぱりこの場所はダメか明日からはやめとこと言われたそうです！え～それわ無いやろ(-~/~~~~ピシー!ピシー!) テレビではすごく親切そうな人なのにネ？たまたまかもしれません！ご参考迄に！

※追伸 優れものの針外し『HIROKA OKハリはずし小 ¥200』を見つけました！実践した結果！別紙記事とおり真実です！是非一度お試しあれ！ウラに！

まけの「モノ」語り

2003.10.27更新

第二話 ハリ外し(ヒロカコーポレーション OKハリはずし・小 180円)



名人芸か

永易啓裕さん率いるフリーダムの面々と、和歌山県湯浅の磯に行った時のことである。ここは餌盗りが多く、色々なものが釣れる。当然お呼びでない魚は海へお帰りいただくのだが、名手達のリリースの早いこと。

ハリ外しを魚の口に入れたかと思うと「チョイチョイ」とつつくと、外道が海に落下していく。はあ、上手い人はこういう手際もいいんだなあと思っていたら、実は「道具」だった。

違和感無く喰わせるハワセ釣りをしていると、ベラやチャリコも遠慮なくハリを呑んでくれる。もちろんできる限り、ハリを取り除いて生還させたいと思うのだが、喉の奥深く刺さった釣ハリを取るのには至難の技。今まで数多くのハリ外しを試したが、どれも似たりよったり。こんなもんかなあ、と思っていた矢先だった。

遠征後、沼津の釣具屋で、釣友ふくさんが見つけてくれたのがコレである。確かに湯浅で見た赤い奴だ。一見何の変哲もない、プラスチックのハリはずしである。本当に良く取れるのかという疑問は、次の釣行で払拭された。沼津ではベラが良く掛かる。しかも、口の小さいベラは覗いてもハリがどこにあるのか判らない事が多い。

見よう見真似で、ハリスを持って魚をぶら下げる。ハリスを引っ掛けるようにハリはずし先端の穴に入れ、そのままコレをハリスにぴったり沿わせて口の中に縦に入れていく。ハリにゴツンと当たったら、軽く「ツツン」とやってやれば、あら不思議。ベラは落下。ハリはハリはずしの先端にひっかかった。

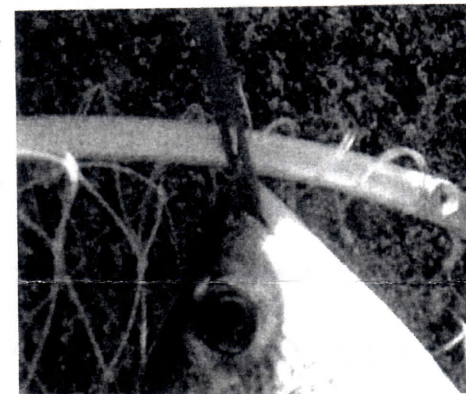
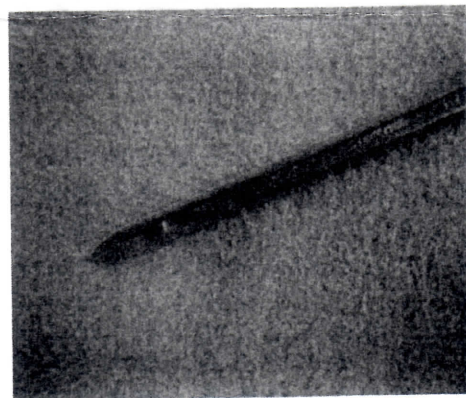
しっかりホールド

このハリはずしの良い所は、単にハリを魚の喉から抜くだけでなく、ハリ外し先端にハリを保持してくれるところだ。他のハリ外しでは、外れたハリがまた刺さったりして、なかなか口から出て来ないことがあるが、これはハリをしっかりホールドするので、そんな不便がない。

右の写真は、小チヌからハリを外したところだが、ハリ外しにハリが引っかかっているのが判るだろうか。この状態になれば、ぶら下げた魚は一気に落下することになる。水面の上で作業をすれば、手で触らずにリリースすることが可能である。

餌盗りといえども、生き物。できるだけダメージを与えずに、お帰りいただきたいと思っている。人間が素手で触るだけで、魚にはかなりのストレスになると聞いているので、ハリ外しが一発で決まれば、その後の生存率は高いのではないだろうか。

断っておくが、コレを使えばいつでも上手くいく訳ではない。力加減を誤って、奥まで突いてしまうこともあるし、何度やってもハリが抜けにくいこともある。しかし、他のハリ外しより格段に成功の確率が高いと思う。



紛失対策

気に入って使っているのだが、難点が一つ。水に浮かぬことだ。特にテトラで、ベストのポケットからポロリとってしまう事が続いた。今は、要らなくなった玉ウキを結んで、落下しても水面に浮かぶようにしてある。これを着けてからも、何度か落としたが、タモで回収して事なきを得た。

どこにでもありそうで、不思議とあまり見かけないので、見つけた時にはまとめて購入することになっている。一番上のパッケージに入ったものは、最近横浜の某餌店で見つけて、買ったものである。餌屋のオヤジさんに、「これねえ、良くハズれるんですよ」と興奮して語ったが、特に反応は無かった。話をハズしたようである。

2003.10.27 まけ記

『まけの「モノ」語り』トップへ

